

経営システム工学科の教育ポリシー

人材養成の目的

経営システム工学科では、経営(マネジメント)活動における価値創造のプロセスに伴う様々な問題を発見し、それを科学的視点から数理的あるいは工学的アプローチにより解決できる人材の育成を目指しています。そのために、人間の活動を含む複雑な経営活動を理解する力、自ら問題を発見する力、問題に応じた適切な解決方法を探す力、問題に挑戦し解決する力、高いコミュニケーション力を持ち、そして人間性尊重の精神と技術者倫理を合わせ持った人材を育成します。

入学者に求める資質と能力

本学科では、次の様な資質と能力を持つ人材を求めます。

- ・ 理系と文系の幅広い分野についての基礎学力
- ・ 論理的な思考力と柔軟な発想力
- ・ 社会に存在する問題に挑戦し積極的に学ぶ意欲と最後までやりぬく敢闘精神
- ・ 問題解決を通じてグローバルに社会に貢献する志
- ・ 高い倫理観

習得する能力

本学科では、次の様な能力等を習得します。

- ・ 理系および文系の十分な基礎学力と論理的な思考力
- ・ 経営活動を構成する諸活動を理解するための知識と経営的視点
- ・ 自ら問題を発見する洞察力とその解決に適切な方法を探すことのできる力
- ・ 問題を解決し、マネジメントできる力
- ・ 人間性尊重の考え方と技術者倫理
- ・ 自分の意見をわかりやすく説明でき、他人と議論し、協力できるコミュニケーション力とグループワーク力

教育内容

本学科では、上記の能力を身につけるため、次の様な特徴を有する教育を実施します。

A) 理系および文系の十分な基礎学力と論理的な思考力

数学・物理・化学など理工系基礎学力を育成し、実験・演習を通じた科学的アプローチの基礎を実践的に学ぶ。また、人文社会系など幅広い教養と視点を身につける。

B) 経営活動を構成する諸活動を理解するための知識と経営的視点

経営活動およびその背景となる経済社会を理解するための経営学の諸分野と、経営の現場を支える経営工学の諸分野を学ぶ。また、生産の現場を支える技術を理解するために、工学技術の基礎を学ぶ。さらに、経営的視点を養うために、事業計画の立案などを実践的に学ぶ。

C) 自ら問題を発見する洞察力とその解決に適切な方法を探すことのできる力

基礎数学、確率・統計、プログラミングなど問題解決の基盤となる理工系知識を学ぶ。さらに、自ら実際の問題を発見し、構造化し、それを解決するためのアプローチを、観察、モデル化、実験などの演習やグループワークなどの創造的教育を通じて習得する。

D) 問題を解決し、マネジメントする力

演習や卒業研究を通じて現実の問題に取り組み、それをいかに継続可能な形で社会に実装するかを考える力を身につける。卒業研究では自ら課題を探し、それに1年間取り組むことで問題解決をやり抜く底力を養う。

E) 人間性尊重の考え方と技術者倫理

人間を含む経営活動というシステムが物理系と異なること、そして人間が入ることによる影響などを、観察等を通じて正しく理解するとともに、人間性を尊重する心を養う。さらに技術者としての倫理についても学ぶ。

F) 自分の意見をわかりやすく説明でき、他人と議論し、協力できるコミュニケーション力とグループワーク力

少人数のゼミナール形式やグループワークで仲間と協力することを通して、自分の考えを理論的に表現し、他人の考えを理解し、尊重し、コミュニケーションをとりながら、一緒に問題に取り組む姿勢を養う。さらに、卒業研究を通じて、自らの仕事を効果的に表現する力も身につける。

学位の授与方針

上記の教育内容を履修して、本学科を卒業するためには、つぎの要件を満たしていなければならない。

- (1) 履修表の科目のうち、○印の付いた科目を14単位以上修得していること。
- (2) 経営システム工学課程推奨機械系・電気系開講科目(表4)を5単位以上修得していること。
- (3) 学士論文研究(8単位)を修得していること。
- (4) 履修表の科目と1年次に習得できる専門科目(表1)を合わせて70単位以上(卒業研究の単位を含む)修得していること。